

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年 8月12日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	467600126
法人名	社会福祉法人 誠心会
事業所名	グループホーム南松園
所在地	鹿児島県肝属郡錦江町田代川原430-1 (電話) (0994) -25-2364
自己評価作成日	令和2年 8月 12日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年8月28日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

◎地域との関わりが途切れないように地域住民との交流、行事参加や社会資源の活用を積極的に推進している。

◎介護の重度化が進む中、近隣のクリニックと医療面の連携を図り健康で安心した生活を送れるように取り組んでいる。

◎重度化に対応した、環境整備と介護技術の向上に取り組んでいる。

理念は、地域との連携、交流活動を目指すといった目標を掲げ、法人主催の夏祭りや運動会を通じて地域交流をしているが新型コロナウイルス感染症拡大予防のため例年の行事が自粛され、管理者や職員は、毎月地域の方を招いて茶話会を園庭で催し交流会活動を実践している。

運営推進会議は、保険者からの要請もあり会議招集はしておらず書面にて事業所の運営状況や入所者支援の様子を伝え報告し、運営に対する助言やアドバイスをもらい、事業所、職員の悩みなどについて相談をするなど柔軟に取り組んでいる。

例年は、認知症や介護の情報提供や相互の情報の共有を図り意見交換し、地域行事への誘いなどあり地域交流を促進しており、地域の方の見学も多い。感染症拡大防止のため、面会制限をしているが、地域の方や知人、友人などの面会希望も多く、新型コロナウイルス感染症収束を待ち望んでいる。

食事は、必要に応じて嗜好調査を行い食事形態を工夫したり食事介助により、食事を楽しむことができるよう支援している。献立は、職員が食材を確認して調理するが、菜園の野菜や家族、地域からの差し入れも活用されている。5月の運動会ではグループホームだけで行事を実施し弁当を堪能した。外食を控えているため、園庭でオードブル形式で食事を楽しんだり、毎日の食卓にて外食気分が味わえるよう食事を工夫している。利用者からも食材の下ごしらえや能力に応じた手伝いをもらい、食べる楽しみを支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念を事業所内に掲げ、職員全員が理解し、日々のサービスに活かすように取り組んでいる。	理念は、朝礼や会議などで触れる機会があり、常に職員が理念を意識してケアに取り組めるようリビングや事務所などに掲示している。入所者の立場になり意思を尊重したケアや地域との繋がりを大切に、穏やかな生活を目指し日々実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のイベントや法人内他事業所の行事に参加したり、地域住民とお茶会を行ったりするなど積極的に交流している。	地域の方には、毎月茶話会に来ていただき園庭で交流会をおこなっている。新型コロナウイルス感染予防のため面会の制限を実施しているが、来られた方にはガラス越しに面会をしていただいたり、可能な限り予防策を講じて外出を楽しんでもらっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	家族や地域の方の来演時などに認知症に関する相談やアドバイスなどを行う事もある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者の家族、近隣住民や行政の方々の参加の中で、一方的な説明をするのではなく、意見交換できる時間を設け、サービスの参考にしている。	新型コロナウイルス感染症の予防のため、今年4月は会議は中止されたがこれ以降は、書面にて保険者に報告し情報共有し運営に関する意見やアドバイスなどをいただいている。報告書は、入所者の生活状況が理解しやすいよう写真を効果的に掲載し報告されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者と連絡を取り合う中で、当事業所の状況を説明することもある。また運営推進会議にて詳細を説明している。	町担当者とは、電話やFAXなどで情報共有し指導や助言をいただいている。感染拡大予防のためマスクや消毒液などの確保ができていないか、管理者や事業所の悩みはないかなど相談に応じてもらい相互に協力関係を築き取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を職員全員が理解しており、研修参加により知識向上を図っている。また定期的に全事業所が集まる委員会にて身体拘束防止に向けての課題などを話し合っている。	法人の身体拘束委員会があり、3ヶ月ごとに会議が開催されている。また、ミーティングや担当者会議では、センサー類の活用や必要性などについて検証し介護計画に位置付け漫然と使用することがないように意識づけしている。また、定期研修では、テーマを決め意見交換し、知識や技術を研鑽しケアに活かしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内勉強会にて高齢者虐待についての研修を行っている。また定期的に全事業所が集まる委員会にて、虐待防止に向けての意識を向上させている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会が乏しいが法人内勉強会で研修を行うことがある。今後も検討していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書・重要事項説明書を利用者様・御家族の前で説明し、十分納得して頂いた上で契約を結んでいる。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事業所内に意見箱を設けている。また、面会の際に要望や意見を伺うようにしており、改善すべきことがあれば職員会にあげている。</p>	<p>家族からは、電話で意見要望を聞き取ったり感染予防を徹底し玄関にて面談をしている。電話のやりとりが多く、家族は専ら利用者との面会の時期がいつから可能なか気にかけている。職員は、電話やホーム便りにて利用者の生活ぶりを報告し信頼関係を築いている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的な会議や朝のミーティングにて、意見や提案を聞くようにしており、サービスの改善、環境整備につなげている。</p>	<p>職員は、朝礼や職員会議にて意見・提案を聞く機会を設けているが、コロナ禍でもあり自身の健康面への不安や冠婚葬祭への出席への要望がある。また、フルタイムから職員の勤務形態の変更にも応じ、働きやすいよう職場環境を整備している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>就業規則に基づき適正に職員処遇を行っている。また有給休暇の取得や、休み希望願いなど快く話ができる雰囲気を作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の経験、技量をみながら、本人に適した質の高い研修に参加させるよう配慮している。また資格取得を支援している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣に事業所が少ないこともあり交流する機会が乏しいが、環境づくりにこれからも務めていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用前に、本人の不安な点や要望を聞くようにし、サービス、生活環境の改善につなげている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用前に、家族の不安な点や要望を聞くようにし、信頼関係を築けるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービス利用前に、本人や家族の不安な点や要望を聞くようにし、専門職の視点から必要な支援を助言している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>料理作りや野菜の収穫、日常の作業などをいっしょに行い、常に会話するよう心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族へ月に1回、手紙を送り近況を伝えている。また運動会などの行事の時は参加への呼びかけを行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所前に暮らしていた自宅付近のドライブ、また旧友や知人が面会に来られた時はゆっくり話ができるような環境作りに努めている。	電話の取次ぎや手紙などの代読、墓参りは職員が付き添い外出するなどしているが、現在は、散髪、自宅訪問や家族との外出は控えてもらっている。職員は、入所者の馴染みの場所をドライブをして関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人ひとりに声掛けを行い、利用者みんなで会話できる雰囲気をつくっている。またみんなで楽しめるレクリエーションや行事の工夫をしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	施設への入所や、病院入院による退所の場合などでも、気軽にホームに遊びにきて頂くよう声掛けをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で、本人の希望を聞いたり、気づいた点があった場合、記録に残している。	本人の言動や生活ぶりを見ながらケース会議などで話しあったり、「引継ぎノート」を参考にし、生活習慣を意識し役割や生きがいを把握して本人の思いを踏まえ意向を確認し本人らしい生活の実現を検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス利用前に本人、家族から聞き取りを行い、生活歴や環境を把握している。またサービス利用の中で気づいた部分は随時記録している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活をしている中で、本人の行動の変化や言動など気づいた点があれば随時記録している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者、家族、関係職員で意見交換を行い、改善すべき課題や生活環境、また本人の生活歴などを参考にその人らしさを反映させた介護計画を作成している。	利用者及び家族の思いや意向を把握し、本人の趣味活動や生活習慣の継続を目指した目標設定や課題を抽出し解決に向けて話し合い、自立して本人が望む生活を送ることができるよう現状に即した介護計画書を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日常生活の中で、本人の気づいた点や変化を随時記録し職員間で情報共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族のニーズを把握し専門職の視点から、さまざまな支援、アドバイスをを行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者の今までの生活環境の中での地域とのつながりを把握し利用者の要望に応じた地域資源の活用に努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人と家族の意向を尊重しており、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医は、ホームの近隣にあり、昼夜問わず24h医療連携が図られている。夜間などは、主治医と電話で連絡が取れる体制が構築されており、他科受診や調剤薬局などとの医療連携が図られている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常生活の中で気になる事やきづいたことを連携している訪問診療の看護師に伝えている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>地域の病院担当者と密に連絡を取り合っている。情報交換や相談を行う事で、円滑な病院利用に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期のケアや重度化の対応については利用開始前にホームの方針を説明し、利用者、家族、嘱託医、職員と意見交換している。</p>	<p>契約時、看取りや終末期の対応について説明、同意を得ている。事業所は、本人、家族の意向を踏まえ主治医と相談し、重度化など早い段階からの対応について関係機関と連携するなどして話し合い、ホームでできる最大限のケアについて検討し納得のいく最期を迎えられるよう支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変、事故発生時に対応できるよう、職員勉強会を行ったりマニュアルを整備したりして迅速に対応できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>近隣の方も参加した火災避難訓練を定期的に行っている。避難マニュアルも定期的に見直している。またその他の災害を想定したBCPを整備している。</p>	<p>事業所は、「土砂災害警戒及び土砂災害特別警戒区域」に指定されているため長雨や自然災害による二次的な災害についても十分な予防策を講じ災害訓練は法人と共同して実施、夜間帯の法人内の伝達もマニュアル化されている。オール電化のためカセットコンロを十分に確保し、備蓄するなど万全に準備をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重したサービス、丁寧な声掛けを全職員が意識して行っている。	感染症の拡大予防のため窓や扉を開けて換気をしているが、利用者のプライバシーには十分配慮している。職員は定期的に研修し、特に言葉の使い方には注意を払っているが、日頃から失礼のないよう敬語を使うよう統一し徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の会話の中で、利用者の希望や意見を引き出すように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れは計画しているが、利用者の意向やその日の体調や状況に合わせて変更している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	外出や地域の行事への参加の時は化粧を手伝っている。また日常生活での衣服もなるべく本人に選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常の会話の中で食事の好みや要望を聞いている。食事作りや畑での野菜の収穫、食材の買い物など一緒に行うように心がけている。	例年は法人と合同の運動会だが、今年は単独で開催し、弁当を堪能していただいたり、園庭でオードブル形式での昼食、家族や地域からの差し入れ、菜園の野菜を活用しおやつ作りや食事に活用している。また、能力に応じたお手伝いもあり、食を通じて季節が感じられるよう工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、水分・食事量を記録して利用者の健康状態の変化が早期に分かるようにしている。また食事の献立など同法人の管理栄養士に助言をもらったりしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯磨きや入れ歯洗浄の声掛けをして利用者の状態に応じて支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の声掛けや、トイレ誘導をしながらなるべくオムツに頼らないような排泄支援に努めている。	昼間はトイレ、夜間はポータブルトイレを併用し排泄の自立を図っている。排泄チェックを行い、排泄の有無を確認し、食事や運動を取り入れているが、毎朝、バナナヨーグルトを提供するのを日課にするなど便秘対策も図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便の状況を記録しており、便秘の方には水分摂取方法の工夫や体操や散歩など適度な運動への働きかけをしている。また同法人の管理栄養士から便秘予防の食材の助言をもらい食事内容の参考にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	計画的な入浴をおこなっているが、希望や体調等にに合わせて臨機応変に入浴ができるようしている。また重度化に対応した入浴の工夫や環境整備に努めている。	浴室は、3～4年前に洗い場を改修し広く、車いすの対応がしやすいよう改善した。利用者によっては、同性介助を希望される方もあり柔軟に対応し安心して気持ちよく入浴していただけるようケアしている。入浴剤やゆず湯なども楽しまれている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	基本的な1日の流れは計画しているが、利用者の体調や意向などに合わせて変更している。また利用者の好きな時間に休めるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬を適切に服用できるよう職員が管理している。また薬の説明書をいつでも職員が内容を確認できるようにしており、随時薬剤師からの助言指導も受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入所時に家族、利用者より生活歴や趣味などの情報をもとにその人に合った役割をお願いしている。また趣味も楽しめるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の希望を尊重した、ドライブや遠足、買い物等の外出支援を行っている。また家族の方の協力を頂いて自宅への外出、宿泊などができるように支援している。	外出もままならない状況下であるが、管理者や職員は工夫を凝らし外出支援をおこなっている。自宅近くまでドライブしたり、花見の時期も車窓から季節を感じたりしている。例年では、法人の夏祭りや運動会への参加や家族との外出、手弁当を持参しての遠足など計画的に外出を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	日常生活では使用する機会がないが、外出やショッピングでは一人ひとりがお金を所持し、好きな物を購入できるように支援している。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	利用者からの希望があれば電話や手紙のやり取りを支援している。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居心地良く過ごせるように、シンプルなりビングとしている。また季節感を感じられるような飾り付けの工夫をしている。	玄関には、季節の生花が活けられ四季折々の季節変化が感じられるよう装飾を施したり、外出先での写真や利用者の作品が掲示されるなど生活感溢れる居住空間である。食堂と対面に窓際にソファが設置され、来客の訪れを感じたり、ガラス越しに面会をすることができるよう配慮されている。天井は高く広々として採光も望める明るく清潔感のある共有スペースである。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	利用者同士でゆっくりと会話やテレビを楽しめるようなソファの配置などの工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者や家族と相談して、自宅で使用していた馴染みの物や写真・装飾品などを持ってきて頂き利用者が居心地よく暮らせる居室となるよう配慮している。	入所前にこれまで使い慣れた品や馴染みの物を持ってきていただくよう依頼して居心地よく過ごせるよう配慮している。毎朝、居室を掃除するのが日課だったり、年末は利用者と職員が協力して清掃をするようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者が安心して生活できるよう、建物内部の配置の工夫をしたりその人の「できること」「分かる事」に合わせた声掛けを行うよう工夫している。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない